

# 魚の城下町

みんなが主役のまち

羅臼町広報誌

5

2016

NO.276

## ちびっこ消防士出動!!

～春松幼稚園児が放水体験で防災を体感～

平成28年熊本地震被災者の皆様に対し心よりお見舞い申し上げます。  
町では義援金を受け付けております。(義援金は日本赤十字を通じて活用されます)

【お問合せ先 羅臼町保健福祉課】

# 夢と希望を胸に

## 安心して暮らせるまちへ

### 平成二十八年年度町長執行方針

抜粹



平成二十八年年度の町政運営にあたり、就任し二年目となることから、あらためて町民皆様の思いを共有しながら、より具体的、かつ効果的な取り組みで町政運営にあたる決意を新たにしているところ（ころ）でございます。

今年度は、座談会などで町民の皆様より頂いたご意見やご提案を一つひとつ実行していかねければならない年と考えております。

町政運営につきましましては、「地域を支える産業の活性化」を先頭に「安全・安心なまちづくり」「医療・保健・福祉・介護の充実」「快適な生活環境の充実」「教育文化のまち」「安定した財政運営」の六点を掲げ、具体的な政策を押し進め、町民が夢と希望を胸に安心して暮らせる羅臼町を目指して参ります。

### まちづくりの基本姿勢

『想像から創造へ』のスタートガンのもとに作成した「Kプロジェクト」を基本により具体的な取り組みへと展開して参ります。

初めに、水産商工観光課を「産業課」と名称変更し、漁業を中心とした各産業の振興を図って参ります。

また、地域振興と活性化を目的とした「まちづくり課」を新設致し、地域と産業の活性化のための「Kプロジェクト」の推進、ふるさと納税に関する事、新たなまちづくりに関する取り組み調整を行うなどとして参ります。

未来の羅臼町をイメージ（想像）して、そこへ向かうための行動目標をしっかりと持ち、

大胆な政策と間違いない判断と重い責任を感じながら町民とともに羅臼町を創造して参ります。

### まちづくりの基本方向

(一) 地域を支える産業の活性化を目指します

基幹産業であります漁業につきましては、引き続き沿岸資源の維持・増大と藻場の回復活動に対する支援を行って参ります。

なお、漁協が取り組んできた格差是正問題につきましましては、重要課題と受け止め、漁協と連携しながら、行政としてできうる対応をして参ります。

ロシアトロール船の操業阻止に向けた要請活動についてはオール羅臼、標津町、別海町とともに国や北海道の関係機関に対し粘り強く行って参ります。

農業につきましては、乳製品を活用した六次産業化に向けた取り組みが計画されておりますので支援して参ります。

観光につきましましては、交流人口の増大に向けて行って参ります。修学旅行の受入れや、「にっぽん丸」の寄港など、体験事業の一層の充実を関係機関と連携を図りながら継続して参ります。

また、外国人観光客の受入れ体制の整備やガイド養成などの充実に向けた取り組みを行って参ります。

(二) 安全・安心なまちづくりを目指します

町民皆様へ災害に対する警戒を呼びかける手段として、防災無線やエリアメールの他、昨年新たに登録制のメール配信システムを構

築しており、登録者の増加に向け取り組んで参ります。

町民一人ひとりが日頃から災害に備え、いざという時には近くの人と力を合わせ助け合うことが何より大切であることから、「自主防災組織」が結成されていない町内会におきましては早期結成に向け支援して参ります。

町営住宅につきましては、今後、建て替えや改善を実施し、良質な町営住宅の形成を目標に進めて参ります。

また、栄町高台団地は、空き家十二戸の解体を計画しております。

### (三) 幸せを感じる医療・保健・福祉・介護の充実を目指します

各種がん検診や特定健診の受診率向上など、生活習慣病予防対策の強化を関係機関と連携し、受診しやすい環境整備に努めて参ります。

診療所につきましては、指定管理者制度を導入し、社会医療法人 孝仁会による運営が開始されてから、今年度で五年目を迎えました。この間、孝仁会には、当町の医療ビジョンによる医療を安定的に提供して頂いており、引き続き診療所の運営を担って頂けるところでありますので、平成二十九年度からの新たな指定管理に向けて、具体的な協議をして参ります。

また、医療や介護などの専門職が不足していることから、羅臼高校からの養成施設等への進学者に対する支援等、貸付対象資格の拡充に向け整備を進めてまいります。

地域包括支援センターには、中核機関として、より専門的で質の高い機能と安定性が求められるので、センターの機能強化を図るための委託化について具体的に検討して

参ります。

国民健康保険は、平成三十年年度から都道府県が国保の財政運営の責任主体として、国保運営の中心的な役割を担うこととなっており、制度周知や啓発活動を図りながら、引き続き、保険税の収納率向上について取り組むなど、制度の円滑な施行に向けて準備を進めて参ります。

障がいのある人もない人も、ともに地域で自分が望む生活を送り続けられることができるまちづくりを目指すため、障がいのある人の働く場の確保・拡大を図っていく必要があり、一般就労に向けて地域住民や企業に対し、障がいのある人が働くことを理解して頂くための啓発や交流の場を提供することに加えて、事業所で造った製品が売れるための応援をするなど、就労支援施策の充実を図るとともに、障がい者の自立生活の基盤づくりのために、引き続き支援して参ります。

### (四) つるおいある快適な生活環境の充実を目指します

知床の環境保全と地域の活力と魅力を高めることを目指すために、行政だけではなく、町民、各事業者、そして当町を訪れる滞在者が環境に配慮した行動や保全活動を連携していくことを呼びかけています。

また、不法投棄防止の啓発強化を図るとともに、各関係機関と連携して、きれいな羅臼町を目指して参ります。

### (五) 豊かな心を育む教育文化のまちを目指します

昨年から新教育委員会制度がスタートし、本年羅臼町教育大綱を策定致しました。本大綱は「ふるさと羅臼の躍進を創造しい

さいきと遅しく行動する心豊かな町民の育成」を教育目標とし、教育部門の各分野が連携・協力しながら各種取り組みを進めて参ります。

また、今後の児童数の減少が見込まれることから、幼稚園の一園化と小学校の一校化を検討して参ります。

### (六) 身の丈に合った「財政構造」を構築し、安定した財政運営を目指します

財源確保のため、ふるさと納税を推進するとともに、「債権管理条例」に基づき町が有する全ての債権について収納対策に取り組んで参ります。

一方、歳出の中で、義務的経費は総額の約三十五%を占めており、弾力性のない非常に窮屈なものになっていくことから、身の丈に合った羅臼町独自の財政構造を構築し、安定した財政運営を目指して参ります。

### おわりに

町政を担当させて頂き二年目を迎えますが、議会はじめ町民皆様方のご協力を頂き「町内会との座談会開催」、「ふるさと納税の実施」、「第七期総合計画の策定」、「人口ビジョンの策定」、「教育大綱の策定」、「知床未来中学校の実施設計」、「知床らうすの未来を考えるアンダー60創造会議の設置」などを進めてくることができました。今後はそれぞれ計画に沿って、しっかりと実践する行政執行をして参ります。

町民皆様、議員各位、羅臼町を応援してくださる全国の皆様や関係機関、諸団体皆様の特段のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

# 幼小中高一貫教育を通して

## 豊かな心を育む教育を

### 平成二十八年年度 教育長執行方針 抜粋

昨年四月から新教育委員会制度がスタートし、新たに設置されました総合教育会議では、町が進める教育の根幹としての「教育大綱」を策定致しました。今後、羅臼町の教育、芸術及び文化の振興に関する総合的な指針でもありませんので、重要かつ緊急性のある事項も含め町長とともに実現に向けて取り組んで参ります。

知床未来中学校の建設に向けまして、昨年度、実施設計を終え、今年度は、いよいよ本工事に着手というスケジュールを予定しています。

これと併行して引き続き校歌の制作ほか、二つの中学校の閉校式典と新中学校の開校に向けての準備等、多岐にわたる具体的な内容について作業を進めて参ります。

また、今後の少子化による教育環境の適正化に向けては、幼稚園の一園化、小学校の一体化の検討と併せて子育て支援の視点も含め町内の施設の有効な活用について検討して参ります。

### 羅臼町における教育行政推進の基本姿勢

未来を創造する人材の育成と持続的な社会の実現を可能にするには、「社会で生きる力」を育成する必要があります。幼児から十八歳まで一貫した基礎的・基本的な知識や技能の習得は元より、思考力・判断力・表現力などの育成とそれらを活用する力、すなわち「豊かな学力」を育む教育の推進に取り組むことが重要です。

また、柔らかな感性、正義感や公正さを重んじる心、生命を大切にし、人権を尊重する基本的な倫理観等、豊かな人間性を育む教育の推進に取り組むことや、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善できる資質・能力を育てるため、心身の調和の取れた発達を図る健康・安全教育の推進に取り組むことが重要です。

これらの子どもたちへの教育活動の実現については、土曜授業の実施や子育て支援・家庭教育支援の充実と教職員の資質能力向上研修を推進して参ります。

また、豊かな「知床の自然」や国の重要文化財に指定された「北海道松法川北岸遺跡出土品」、そして「産業人材の育成」「キャリア教育」に取り組んで参ります。

町民一人ひとりが自ら必要な活動を実践し、生きがいのある活動につながるよう各種の学習機会と情報を提供し、学びの成果が活用できる生涯学習社会の実現を目指して参ります。

### 主要施策の推進

#### (一) 社会で生きる力の育成

- 一点目は、「幼児から十八歳までの一貫した教育の推進」
- 二点目は、「確かな学力を育む学習指導」
- 三点目は、「健やかな体を育む取り組み」
- 四点目は、「豊かな心を育む教育やいじめ問題等への取り組み」
- 五点目は、「羅臼町支援教育の推進」
- 六点目は、「知床学を通じたふるさと教育の推進」

七点目は、「キャリア教育の推進」

八点目は、「地域全体で子どもたちの学びを支援する取り組みの推進」

九点目は、「子育て支援・家庭教育支援の充実」

十点目は、「情報通信技術（ICT）を活用した教育の推進」

十一点目は、「教職員の資質・能力の向上」

十二点目は、「学校施設・設備等の整備・充実」

#### (二) 羅臼町の未来を拓く人材の育成

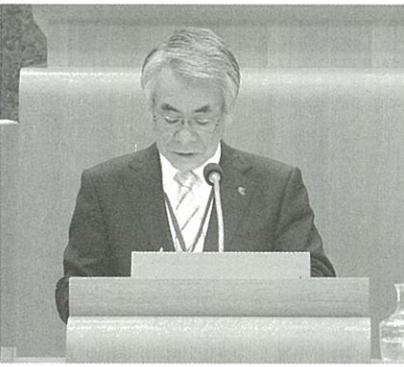
- 一点目は、「産業人材の育成」
- 二点目は、「世界自然遺産登録地『知床』を通しての環境教育とグローバル人材の育成」

#### (三) 生涯学習や芸術文化・スポーツの振興

- 一点目は、「地域の活性化に寄与する生涯学習の振興」
  - 二点目は、「芸術文化の振興」
  - 三点目は、「スポーツ活動の推進と環境の充実」
- おわりに

教育委員会といたしましては、未来を創造する人材の育成が持続的な社会の実現を可能にすることと、町民の皆様が生涯にわたって豊かな学びが続けられる環境づくりに最善の努力をすること、これらを実現するために教育施策を着実に実行して参ります。

町民の皆様、議員の皆様のご理解とご協力を心からお願いを申し上げます。教育行政執行方針と致します。



# 知床・羅臼まちづくり基金 最終報告

## 寄付者や町民のみなさまへ

知床・羅臼まちづくり基金はふるさと納税導入後の平成27年12月1日より「地域資源を活かした活力ある産業のまち」、「一人ひとりが輝ける地域医療、保健、福祉、介護のまち」、「自然環境に配慮し安心安全に暮らせる快適なまち」、「豊かな心身を育み、明日へとはばたくまち」、「持続的な行政・財政運営ができるまち」および「その他目的達成のために町長が必要と認める事業」をあわせた6項目を大切な寄付の使い道として位置づけ、基金運用をしております。

ここに、平成27年度の基金運用状況を報告させていただきます。

## 1 基金の状況

(単位：件数=件・金額=円)

	平成26年度以前 基金残高・件数		平成27年度 基金・件数		合 計 基金残高・件数		平成27年度の 基金の運用額	平成27年度基金 運用後残高
地域資源を活かした 活力ある産業のまち	7,455,500円	38件	3,868,329円	306件	11,323,829円	344件	948,240円	10,375,589円
一人ひとりが輝ける地域医 療、保健、福祉、介護のまち	5,411,975円	289件	1,975,587円	221件	7,387,562円	510件	—	7,387,562円
自然環境に配慮し安心安 全に暮らせる快適なまち	8,183,370円	88件	13,549,050円	270件	21,732,420円	358件	11,697,623円	10,034,797円
豊かな心身を育み、明 日へとはばたくまち	23,321,139円	42件	4,178,762円	95件	27,499,901円	137件	—	27,499,901円
持続的な行政・財政運 営ができるまち	0円	0件	227,308円	32件	227,308円	32件	—	227,308円
その他目的達成のため に町長が必要と認める事業	30,000円	3件	7,232,408円	367件	7,262,408円	370件	—	7,262,408円
合 計	44,401,984円	460件	31,031,444円	1,291件	75,433,428円	1,751件	12,645,863円	62,787,565円
運 用 益	349,186円	—	8,207円	—	357,393円	—	—	357,393円

## 2 基金の運用

平成27年度は基金を運用して2つの取り組みを実施しております。

1つ目は「自然環境に配慮し安心安全に暮らせる快適なまち」にあたる取り組みとして野生鳥獣対策フェンスの設置や電気柵の検証業務を実施しました。

2つ目は「地域資源を活かした活力ある産業のまち」にあたる北方領土返還要求運動として、しおかぜ公園横の北方領土返還啓発看板の補修を行いました。



電気柵



電気柵



北方領土啓発看板

## 寄付者の方々 (平成27年4月～平成28年3月)

(順不同・敬称略)

### ○個人の寄付者

・平田 莉子 羅臼町 ・佐々木廣輝 羅臼町 ・谷 誉祥 羅臼町 ・長岡 紀文 羅臼町  
 ・高橋 力也 羅臼町

### ○団体の寄付者

・高部電気株式会社 中標津町 ・羅臼ライオンズクラブ 羅臼町 ・有限会社 和光 中標津町  
 ・ダイキン工業株式会社 大阪府大阪市 ・(有)菊地水産 羅臼町 ・(株)マルナカ中西商店 羅臼町  
 ・(有)中谷漁業部 羅臼町 ・U.A.ゼンセン同盟 東京都千代田区 ・(株)デリシャスエーシー 大阪府富田林市  
 ・北海道コカ・コーラ 札幌市 ・陶の会 羅臼町

(注1) 寄付者について、氏名の公開を希望されていない方の掲載はしていません。

(注2) 個人の寄付者は町内の方のみを掲載しております。(注3) 住所は寄付時の住所となります。

○知床・羅臼まちづくり基金については、羅臼町ホームページでもご覧いただけます。 <http://www.rausu-town.jp>

# 「羅臼のふつう」は、日本の「いちねい」 このたび、らうす産品のブランド化を はかるためブランドマークを決定しました

三月二十二日に試食審査会を行い、左の一覧にあります二十品がブランドとして認証されました。

ブランドとして認証されたものは「知床らうすブランド」マークの表示ができるようになります。マークは羅臼の「羅」の字を基本に、上の部分においしさと笑顔をあらわす口と舌がデザインされています。マークには「羅臼のふつうは、日本のいちねい」というキャッチコピーをつけてPRすることもできます。

羅臼の水産物のおいしさは広く知られているところですが、知床らうすブランドは羅臼町内で生産される、または羅臼産の原材料を



使っている品物の中で自信をもって広くPRできる一品です。

見かけたときにはぜひお手にとっていただきますとともに、知床らうすブランドを広く知っていただくために町内外のお知り合いに

知床らうすブランドについて話題にしていただけますようお願いいたします。

ブランド認証の申請は随時受け付けております。お問い合わせはブランド運営委員会事務局（役場まちづくり課 八七―二一六―）までお願いいたします。

## 知床らうすブランド運営委員会

- ・ 羅臼町
- ・ 羅臼漁業協同組合
- ・ 羅臼町商工会
- ・ 知床羅臼町観光協会
- ・ 羅臼町水産加工振興協会

## 知床らうすブランド認証品一覧（平成28年4月現在）

No.	認 証 品 名	会社または団体名	お問い合わせ先(電話番号)
1	鮭 節	のりとも朝倉商店(株)	0153-88-2303
2	醤油 いくら	羅 臼 海 産 (株)	0153-88-1155
3	たら子 (バラ明太子)	(有)マルナカ冷蔵	0153-88-1050
4	た ら 子 (切 子)		
5	い か 開 き 干 し		
6	定 塩 秋 鮭 フィレ		
7	干 助 宗 鱈		
8	た ら こ		
9	辛 子 明 太 子	羅 臼 海 産 (株)	0153-88-1155
10	さ け と ば		
11	鮭 節 昆 布 醤 油	丸 大 あ べ 商 店	0153-87-5877
12	ほ っ け ー 夜 干 し	ヤ マ ユ ウ 関 商 店 (有)	0153-88-2921
13	お つ ま み 羅 臼 昆 布	羅 臼 漁 業 協 同 組 合	0153-87-3542 (羅 臼 漁 協 直 営 店 海 鮮 工 房)
	あ ら び き 羅 臼 昆 布		
14	羅 臼 昆 布 し ょ う ゆ		
15	羅 臼 昆 布 だ し		
16	羅 臼 昆 布 つ ゆ		
17	羅 臼 昆 布 そ ば		
18	羅 臼 昆 布 ら ー め ん		
19	羅 臼 昆 布 茶		

### 試食審査会の様子（公民館）



### 知床らうすブランド認証基準（一部抜粋）

●申請者：羅臼町内に拠点を置く法人または団体、  
羅臼町内に住所を置く個人であること。

●申請品：

- ① 農林水産物
  - ・ 羅臼町内で生産されたものであること。
- ② 加工製造品
  - ・ 羅臼町内で生産された農林水産物を主原料か、商品等特色づける原材料として使っていること。

・ 羅臼町内で加工製造されているか、町外で加工されている場合は適切な理由があること。

※カニは認証の対象外になります。

# ヘルス チェック

## いま一度確認を。 防災グッズの中身。 そして「くすり」

四月に発生した熊本地震で被災された皆様  
に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。  
自然災害はいつ起こるかわかりません。いま一度皆  
さんが用意している防災グッズを見直してみましょ  
う。

今回はとくに「持病のある方の処方薬」をテーマにク  
ローズアップしました。以下のポイントを再確認して  
おきましょう。

☆災害はいつどこで起こるかわかりません。外出時には  
数日分の処方薬を持ちましょ

☆処方薬は常に一週間、数日分くらい予備として用意し  
ておき、自宅のすぐ持ち出せる場所に保管しておきま  
しよ

☆処方薬はジップロックなどの密閉できる袋に入れてお  
くと濡れずバラバラにならず便利です。

☆有効期限の短い処方薬は、保管箱や非常用持ち出し袋  
に入れたままにせず毎回処方のために入れ替えましょ  
う。

☆避難所生活が長引き薬がなくなった時、処方薬の名前  
や種類がわからない場合、「お薬手帳」が手元にあると  
薬の処方や入手がスムーズになります。お薬手帳もす  
ぐに持ち出せる場所に保管し、外出時に持ち歩きま  
しよ

☆万一災害が起こり、避難時に薬を持ち出  
すのを忘れても、**安全が確認できるまで**、  
家へ薬を取りに帰らないようにしましよ  
う。ちょっとした時間だからと、安易に家  
へ戻るのはかえって危険です。



# 子育て情報ひろば ~すくすく~

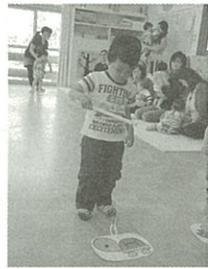
## ◇◇◇◇◇運動会◇◇◇◇◇

羅臼町子育て支援センター「ありんこ」では毎年、室内にてミニミニ運動会を開催しています。

うちの子はまだ小さいから・・・という方もいらっしやるかと思いが、年齢に合わせた競技を用意していただけますので0歳でも参加できますよ！申し込み方法はとっても簡単！「ありんこ」に来て利用者申請し、運動会参加の有無を、お知らせしていただく！切日は六月八日(水)午前中までです。お早めにお申込み下さいね！



写真は昨年の様子です。



## ★6月・7月の子育て支援センター情報♪

☆ありんこ広場 (0歳~3歳対象) ☆すくすく広場 (1歳未満対象・妊婦さんの見学可) ☆のびのび広場 (2歳~3歳対象)

6月 1日	ありんこ広場	6月 6日	ママの日♪	6月 8日	春松幼稚園訪問
6月 9日	健康ヨーガ教室	6月10日	すくすく広場	6月15日	ありんこ広場
6月16日	★おはなし会	6月17日	のびのび広場	6月22日	ミニミニ運動会
6月23日	ヨーガ教室	6月29日	ありんこ広場	7月 1日	すくすく広場
7月 6日	羅臼幼稚園訪問	7月 7日	ヨーガ教室	7月11日	ママの日♪
7月13日	ありんこ広場	7月20日	ありんこ広場	7月21日	ヨーガ教室
7月25日	計測	7月27日	ありんこ広場	7月29日	のびのび広場

\*健康ヨーガ教室については事前に申し込みが必要です。★印は公民館で行います。  
\*開催場所・問合せ先：羅臼町子育て支援センター「ありんこ」 TEL0153-88-1515

# 緩和ケアとは何か…?

がんは、日本人の死因で最も多い病気です。現在、3人に1人ががんで亡くなっています。がんになると、どのようなことが起きるのでしょうか？多くは、痛み、だるさなどの様々な症状（痛みはがん患者さんの70%にみられます）落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛。せまりくる「死」への恐怖。自分の人生に対する問い・・・等が言われています。



緩和ケアは「がんの治療」と一緒に始めます

## ★緩和ケアとは

- \* 痛みやその他の苦痛となる症状を緩和する
- \* 生命を重んじ自然な流れの中での死を尊重する
- \* 死を早めることも、いたずらに遅らせることもしない
- \* 死が訪れるまで患者さんが自分らしく生きていけるように支える
- \* 患者さんの治療時から、患者さんと死別した後もご家族を支える
- \* 患者さんやご家族に心のカウンセリングを含めたさまざまなケアをチームで行う
- \* 生活の質（QOL）を向上させ、前向きに生きる力を支える
- \* がん治療の初期段階から、手術、化学療法、放射線療法等と連携しながら緩和ケアを行う・・・とされています。



どこでも受けられる「緩和ケア」

つまり緩和ケアとは、がんと診断されたときから行う身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケアであり、どの施設でも、あるいは自宅でも受けることができるのが望ましいとされています。

## ★医療用麻薬の誤解

緩和ケアでは、まず痛みを取り除くことを第一に考えています。WHO（世界保健機関）は、「痛みに対応しない医師は倫理的に許されない」と述べています。痛みは取り除くことができる症状でありそのための緩和ケアを受ける権利は誰にでもあるのです。痛みのコントロールでは、しばしば「医療用麻薬」が使われます。医療用麻薬はがんの痛みにとっても有効な薬です。しかし麻薬中毒のイメージから敬遠され、痛みを我慢して過ごしている方も少なくありません。医療用麻薬は、痛みがある状態で使用すると中毒にならないことがわかっています。代表的な医療用麻薬は「モルヒネ」です。モルヒネには粉薬、錠剤、徐放剤（ゆっくりと長時間効く薬）内服液、貼付薬、坐薬、注射など多くのタイプがあり、種々の痛みに対応できます。アルコールに対して強い人、弱い人がいるように痛みをとるために必要な医療用麻薬の量にも個人差があり、たとえ飲む量が増えたとしてもそれによって中毒をおこしたりすることはありません。

## ★痛み以外の症状にも緩和ケア

・食欲がない・吐き気がする・お腹がはる・息が苦しい・咳が辛い・しゃっくりが止まらない・尿がもれる・尿が思うようにでない・だるい・むくみがある・何もする気がおこらないなど…不快な症状のために仕事ができなくなったり、気分が憂うつになり、どうしてこんな目にあうのかという気持ちが起ることもあります。そのような症状に対しても、痛みと同様に患者さんと相談しながら、緩和ケアチームでケアを行います。当診療所でも患者さんご本人やご家族の意見を聴きとり、計画書を作成し、緩和ケアに取り組んでいます。「こんなことは相談しても仕方がない。」と思わず「つらいな」と思ったら、どんなことでも遠慮せず看護師にお尋ねください。

痛み以外の症状にも「緩和ケア」

がんの症状と「緩和ケア」

「医療用麻薬」の誤解

おぼえてください「緩和ケア」

# 羅臼町郷土資料館

## 羅臼の歴史・文化・自然を学ぶ!

# 「らうすミンタラ」会員募集!

### 「らうすミンタラ」って何?

「らうすミンタラ」は、平成二十六年度に実施した、羅臼町郷土資料館講座の参加者などの声により平成二十七年に組織された、郷土の歴史や文化、自然について共に学んでいくことを目的とした、郷土研究会です。

ただ羅臼町郷土研究会という名前ですと、堅苦しく参加しにくいイメージがあるのでと考えると、アイヌ語で広場の意味を持つ「ミンタラ」から「らうすミンタラ」と名付けました。

### これまでの活動は?

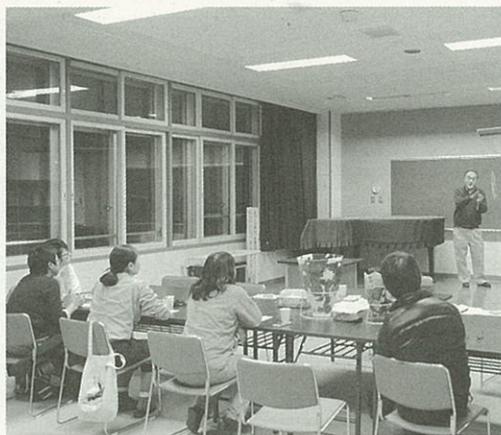
現在のところ、約十名程の会員で活動しています。平成二十七年五月より、隔月のペースで開催し、これまでに六回開催しました。

会は会員が発表者となり、他の会員が質問したり、情報交換を行ったりしながら進めています。

第一回 埋蔵文化財(遺跡) ってなあに?



○この写真後には歓声が！  
新しい発見がまっていますヨ!



○第六回の勉強会の様子です。

- 第二回 樹洞営巢性鳥類について
- 第三回 羅臼の化石や地層について
- 第四回 縄文時代のシカの落とし穴  
／魚の透明骨格標本
- 第五回 羅臼のクマについて
- 第六回 縄文土器の文様―縄文原体を作って―

### 今後の活動は?

「らうすミンタラ」は、自分たちが暮らす羅臼について再発見し、その歴史や文化、自然についての知恵や知識を未来に繋げていく学習と交流の場となることを目指しています。

これまでの活動以外にも、グループでの共同調査や、周辺の資料館への巡回見学など色々なことに取り組んで行こうと考えています。

### 会員の募集!

羅臼についてもっと知りたい、伝えたいと考えている仲間を募集しています。また、一回だけ参加してみたいという方も大歓迎ですので、「らうすミンタラ」に興味のある方は、まずは郷土資料館までご連絡下さい。お待ちしております。

羅臼町郷土資料館

電話 88-3850

# 公民館図書室活用術

## お役立ちポイント①



「知恵の神様 ふくろう」の  
バナーをクリックしてね!



## 図書室の情報をみてね!

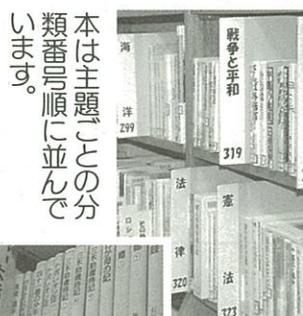
羅臼町ホームページを見たことがありますか？  
暮らしに必要な情報やお知らせ、広報などが掲載されています。  
このたび図書室の情報にアクセスしやすくするため左記のバナーを貼り付けました。図書の新着リストを毎月掲載していきます。どうぞご覧ください。  
\*検索機能はありません。

## お役立ちポイント②

## 新着図書リストの見方は?

これは日本十進分類法と  
いってほとんどの日本の図書館で使われています。  
新着図書リストもこの分類番号順に記載していますので(詳しくは参考)。

図書室でどこに何の本があるかわからなくて迷ったことはありませんか？  
実はこの数字は、本の主題ごとに十区分で分類された「本の住所」です。大きな区分の下にさらに内容によって細分化されていて本が探しやすくなっています。



本は主題ごとの分類番号順に並んでいます。

本に付いている数字の意味



本にラベルがついています。

## 日本十進分類法

000	総記	(百科事典など)
100	哲学	(宗教など)
200	歴史	(歴史・地理・伝記など)
300	社会科学	(社会・民族など)
400	自然科学	(数学・理科・生物学など)
500	技術、工学、工業	(家庭科、機械など)
600	産業	(産業・園芸など)
700	芸術	(芸術・スポーツなど)
800	言語	(各国語・スピーチなど)
900	文学	(詩・俳句・小説など)

## 本の住所の役割をしています。

子どもの本は羅臼独自の分類をしています。Jは児童書を指し、JE絵本・JS低学年読み物・JT高学年読み物・JN読み物以外となっています。YAは中高生向きでラベルも色分けしています。

## お役立ちポイント③

## 利用登録した方は電話予約ができます。

TEL 0153-87-2004 FAX 0153-87-2256



# 城下町のわだい

みんなでまちづくり

町では協働のまちづくりを推進しています。ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を実践している方々を中心に取り上げ掲載していきたいと考えています。みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！

3月18日(金)

## むし歯のない子の表彰式

三歳児健診で、むし歯のなかったお子さんの表彰式が行われました。表彰対象者四十五名のうち、三十名が出席してくださいました。これからも歯を大切にしてくださいね。



3月24日(木)

## 新入学児童に「愛の鈴」

羅臼町商工会女性部（濱屋百合子部長、長谷川華奈江副部长）は三月二十四日教育委員会を訪れ、町内新入学児童に贈る交通安全祈願「愛の鈴」を寄贈しました。

昭和五十三年から続く取り組みで、ひとつひとつ黄色い糸で手編みされた釣り鐘状のお守りは、元気に登校する新生の安全を祈願し、交通事故に遭わないようにとの願いが込められています。

「愛の鈴」を託された山崎教育長は、例年の寄贈に対し感謝の気持ち伝え、子どもたちへの配布を約束しました。



4月9日(木)

## 羅臼小学校放課後児童クラブの修了式が行われました。

昨年四月に開設した羅臼町初の放課後児童クラブ（学童保育）の修了式が、四月九日に行われました。児童みんなの一年間の取り組みの発表や、親子でゲームを行い、楽しい時間を過ごしました。三月で退室する一名の児童へ、それぞれのメッセージと、クラブから記念品が贈られました。四月からは新たに新入学児童が加わり、十二名の児童で通室が始まっています。



4月10日(日)

## 知床雪壁ウォーク 2016 実施

四月十日(日) 晴天の中、知床雪壁ウォークが開催されました。羅臼コースと斜里コースで行われ、羅臼コースには二三人が参加し、中にはタイ人のツアー客の参加もあり、珍しい雪を満喫していました。

この日は天候も良く、国後島や羅臼岳がはつきりと望むことができ、参加者は目の前の雄大な大自然に大満足の様子でした。道の駅に戻ってからは、知床羅臼町観光協会より暖かい三平汁が振舞われ、楽しい一日を過ごしました。



4月25日(月)

## 道の駅クリーンアップ 大作戦の陣

知床らうす交流センター管理運営協議会の主催のもと、釧路開発建設部や知床羅臼町観光協会及び漁協、役場職員が協力して、道の駅周辺や、松法ソスケ地区等のクリーンアップ作戦を実施しました。

空き缶やたばこの吸い殻が集められる中、食品の包装紙等の「家庭ごみ」も多くありました。ポイ捨ては不法投棄につながります。ポイ捨ては絶対やめましよう。



4月26日(火)

## 知床横断道路が開通

冬期間通行止めとなっておりました知床横断道路(国道三三四号)が四月二十六日午前十時に開通となりました。

近年での四月中の開通は五年ぶり、連休前にも関わらずゲート前には道外ナンバーの車も目立ちました。

知床峠頂上は、あいにく曇りで小雪がちらついています。観光客でにぎわっていました。









(掲載はいずれも平成28年3月11日～平成28年5月10日受付分)

# 羅白いさり火吟社

4月例会句  
平成28年4月

霞より出し鳥あり楢林 悠 羅

土付きの春菜両手に母の笑み 英 美

もてなしは春菜と地酒友来たる 鹿 山

雲水の杖引く先や遠霞 泥 舟

稜線に下弦の月置く夕霞 羅 牛

岬まで果てまで隠す遠霞 日 奈

漁船はや霞む沖より戻りけり 千 鶴 枝

俳句同好会「羅白いさり火吟社」では投句を募集致します。住所・氏名・年齢・電話番号を明記し送付していただくか、下記までお問い合わせ下さい。

〒086-11823 羅白町栄町

羅白いさり火吟社

宮 腰 貴

(電話)0153-8713758

## 人の動き

平成28年4月末現在 ( )内は平成28年3月末対比

人口 5,365人 (+21) 男 2,654人 (+17)  
世帯 2,120世帯 (+24) 女 2,711人 (+ 4)

### 編集後記

4月から新たに広報担当となりました。これからよろしくお願ひします。

さて、初取材は横断道路開通式とちびっこ消防団。開通式終了後、消防署へ行くこと丁度、放水訓練の真最中、少しでも子ども達の顔を撮ろうと正面に回ると、パシャ・・・子ども達には、「だから水がかかるよって言うていたのに」と笑われてしまいました。

今後みなさんの元へ取材にお伺いすることもあるかと思ひますが、ご協力よろしくお願ひします。(Y)

## 羅白町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅白の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志をうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。

